

図書館

☆へいこう!

新着本のご案内

〔一般書〕

▼徹子ザ・ベスト(黒柳徹子)▼天女湯おれん 春色恋ぐるい(諸田玲子)▼淡雪記(馳星周)▼トロンプルーイの星米田夕歌里▼うからはらから(阿川佐和子)▼子家庭の身代金(赤川次郎)▼花桃実桃(中島京子)▼人質の朗読会(小川洋子)▼いとま申して(北村薫)▼恋しぐれ(葉室麟)▼やわらかなレタス(江國香織)▼ぼくから遠く離れて(辻仁成)▼カササギたちの四季(道尾秀介)▼無花果の実のなるころに(西條奈加)▼そういうものだろ、仕事っていうのは(重松清)▼四十九日のレシピ(伊吹有喜)▼ポリティコン 上・下(桐野夏生)▼蛇と月と蛙(田口ランディ)▼くるすの残光(仁木英之)▼ダークゾーン(貴志祐介)▼保身(小杉健治)▼警視庁FC(今野敏)▼小説・剣豪もし戦わば(巨椋修)▼来ちゃった(酒井順子)▼横浜唐人お吉異聞(山崎洋子)▼暴走ボーソー大学(山之口洋)

〔児童書〕

▼ぐりぐりくん(五味太郎)▼はるねこ(松成真理子)▼はるがきた(マーガレット・ブロイグレアム)▼おとうさんおかえり(ステイヴン・サヴェッジ)▼シップ船長とチャンピオンくん(かどえいこ)▼竜の座卓(朝比奈蓉子)

〔寄贈のお礼〕
丹野 千鶴子様 (三笠)

毎週土曜日
14時00分～
おはなしかい開催

— 話題の本 —
『苦役列車』
(西村 賢太著)
友もなく、女もなく、一杯のコップ酒を心の慰めに、その日暮らしの港湾労働で生計を立てている十九歳の賢太。或る日彼の生活に変化が訪れたが...。こんな生活とも云えぬような生活は、一体いつまで続くのであろうか。
第144回芥川賞受賞

★読み聞かせボランティア募集中。詳しくは図書館までご連絡下さい★

病院だより

心臓の検査あれこれ

臨床検査技師 宮部 健治

町立和寒病院で実施している心臓の検査について紹介いたします。

心電図

心臓の検査でまず思い浮かべるのは心電図検査でしょう。心臓が発生している微弱な電気を体の表面でとらえ、「波形」として記録したものが心電図です。



検査は簡単、右の図のように両手首と両足首にクリップのような電極を、胸には6か所吸盤の電極を取り付け(この時、腕時計は取り外し、ストッキングは脱いでいただき、数分間安静にあおむけになっていただけです。心臓の動きに異常があると、心電図波形や間隔に変化が生じ、疾患によっては特有の波形となります。不整脈、狭心症、心筋梗塞、心臓肥大などの診断に役立ちます。

「ホルター心電図」
一日中続く不整脈もあれば、一日のうち数分だけ出るようなものもあります。

また、時々胸がドキドキすることがある、という話をよく聞きます。このような過性の不整脈や症状の診断には24時間心電図を記録するホルター心電図検査が役立ちます。

電極を胸(4か所)に貼り付け、これにコードでつながる小型の心電計を首からひもでつるしてお腹に固定します。服を着れば外からは分かりませんが、取り外すまで入浴はできませんがそれ以外の日常生活は普段通りにしてもらいます。



患者さまには付けている間の行動(トイレ・食事・服薬・起床・就寝の時間・症状など)を記録していただき、24時間経過後再来院してもらい、心電計を取り外します。そして24時間分の心電図データの解析を外部の専門医に委託します。これでいつ何をしていたのか分かります。一日に何発不整脈があったのか、それがどのような不整脈なのかも分かります。

「心臓超音波検査」
絶えず動いている心臓の動きを実際に見ることができない数少ない検査です。超音波とは人間の聞こえる範囲をはるかに超えた高い周波数の音のことです。検査に用いられる超音波は安全性が確認されており胎児の検査にも用いられています。この検査では心臓の大きさ、動き(収縮と拡張)、心臓の筋肉の厚さや弁の状態(きちんと閉まるか・充分開くか)、血液の流れなどを観察・計測します。



弁の異常の「心臓弁膜症」、動きに異常のある「狭心症・心筋梗塞」、心臓の筋肉異常の「心筋症」などの診断に役立ちます。

今回は3種類の心臓の検査の紹介でした。血液でも心臓のことについて多くの情報を得ることが出来ます。それについては、血液検査の紹介の時にする予定です。